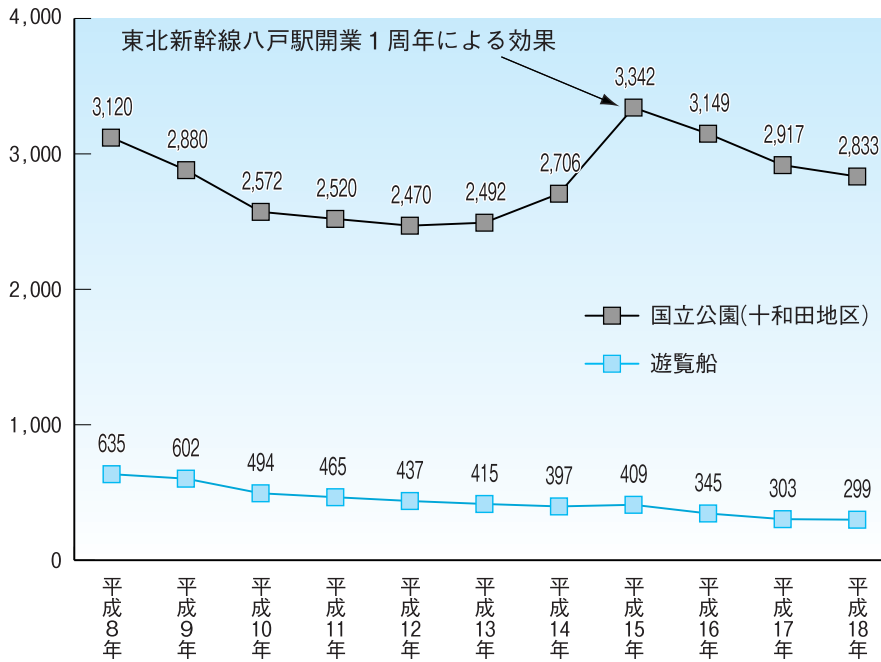


## 十和田八幡平国立公園（十和田地区）の観光レクリエーション客と十和田湖遊覧船の利用者数の推移

(単位:千人)



資料:平成18年青森県観光統計概要より

# 第1章 観光客の動向

十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田は十和田八幡平国立公園に含まれています。また、十和田湖と奥入瀬溪流は国の特別名勝及び天然記念物に指定され、全国でも有数の観光地として知られています。

近年の観光客の入り込み数から、十和田湖観光の現状について考えます。

### (1) 観光客の入り込み数

青森県では、県内の観光レクリエーション客の入り込み数を公表しています。このレクリエーション客とは、行楽、休養、修学旅行などの目的で観光地に訪れたかたのことです。

十和田八幡平国立公園十和田地区における観光客の入り込み数の推移を見ると、平成8年の312万人から減少しています。

その後、平成14年12月の東北新幹線八戸駅の開業に向けて、当時は青森県民の悲願の開業として首都圏で青森県の観光や物産をPRする大規模な誘客キャンペーンが行われました。平成15年には334万人の入り込み数を記録しましたが、平成17年には再び300万人を割ることになりました。

これまでの十和田湖観光は、6月から10月にかけて新緑や紅葉の時期に観光客の入り込み数が集中していたことから、通年観光を目指し、冬季観光に力を入れてきました。冬季観光の柱として、平成11年から開催している「十和田湖冬物語」は、平成18年には延べ22万人が訪れ、青森県を代表するイベントとして定着しています。しかし、イベントを中心にした誘客だけでは、年間の観光客の入り込み数の増加にはつながらない状況となっています。

### (2) 旅行形態と観光客のニーズ

観光客の入り込み数が減少した要因は、長引く景気の低迷、海外旅行者が増えたことによる国内旅行者の減少などいろいろなきが考えられ